

子どもの本と文化を、
子どもの未来のために

財団法人 **大阪国際児童文学館**

INTERNATIONAL INSTITUTE for CHILDREN'S LITERATURE, OSAKA

No.01
2011.8



REPORT

編集・発行／財団法人大阪国際児童文学館
〒577-0011
東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06(6744)0581 FAX 06(6744)0582

<http://www.iiclo.or.jp/>

「この一年を振り返って」

理事長 三宅興子

まず最初に、この一年間のレポートを無事お届けできずことを、関係者の皆さまに感謝申し上げます。

2009年3月、子どもの本と文化に関わる膨大な資料の管理・運営が、東大阪市荒本にある大阪府立中央図書館の直営になり、万博公園にあった施設が廃止されると決まったとき、財団法人大阪国際児童文学館は存続するかどうかの岐路に立ちました。そして、議論の上、事業を継続して実施していく必要があるという結論に至り、2010年4月、財団も、大阪府立中央図書館内に移転し、理事長、常務理事、主任専門員、総務主任の最小規模のスタッフと、理事6名、評議員6名、監事1名のスリム化した組織として再出発いたしました。

事業につきましても、これまでの事業の全てを見直した上で、新しく構築する観点に立って、メールマガジン発行や寄付金募集、講師派遣、助成金の確保、専門知識を生かしたブックリスト制作など、新規を含むさまざまな事業に取り組んでまいりました。また、昨年五月にオープンされました「大阪府立中央図書館 国際児童文学館」が、貴重な資料を収集・保存・公開されるにあたって、網羅的な資料体系に空白が生じないように協

力することにも力を注ぎました。事業の充実を図り、財政を少しでもカバーしたいと寄付金をお願いいたしましたところ、多くの方から浄財をいただくことができたことに対して、厚くお礼申し上げます。6月に、新生財団の初めての決算にかかる評議員会・理事会が開催されました(くわしくはHPをご覧ください)。財政面の長期的見通しを持つことは大きい課題ですが、無事第一歩を踏み出し、その報告ができましたことを有り難く思っております。

この一年、財団にできることを考えていく中で、財団としてやらねばならないことが、少しずつ、はつきりしてきたように思います。それは、膨大な資料をどのように使っていくのか、その可能性を多面的に追求していくことではないでしょうか。2010年は、まず、文学館の資料を用いた「紀要」論文を募集するということから始めました。今後、プロジェクト研究や出版計画などで具体化していく必要があると考えています。

まだまだ将来の展望が見えない現状ですが、長期的な視野に立って、一年一年、柔軟に地道な活動を続けていきたいと存じております。今後とも、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



被災した子どもたちに本を贈る 「いっしょだよ」キャンペーン

2011年3月11日に起きた東日本大震災で被災した子どもたちにも本を贈る取り組みを行っています。

東日本大震災で被災した子どもたちに本を贈る

いっしょだよ 募金



イラスト協力：絵本作家いむむらかずおさん

阪神淡路大震災のときの経験を生かして、被災地の学校や幼稚園、保育所、地域文庫などに新しい本を購入して保護力パーをつけて贈ります。

そのための募金を他団体とともに4月26日から開始しました。募金の詳細は左記のとおりです。6月30日現在、皆さま方から頂いた募金は1500万円を超えました。心から感謝申し上げます。引き続きご支援をお願いします。

●募金は最寄りの郵便局から郵便振替による送金をお願いします。

口座番号 00970・9・12891

加入者名 毎日新聞大阪社会事業団

通信欄に子どもの本と明記ください。

・お名前を毎日新聞に掲載させていただきます(匿名にもできます)。

・税制上の優遇措置が受けられません。
*本そのものの寄付は、受け付けておりません。ご了承ください。

本の寄贈を希望される施設を募集しています

1 対象

子どもの本を設置し、子どもたちが自由に読める空間があり、本の寄贈を希望される施設

例：学校、幼稚園、保育所、児童館、地域文庫など。避難所の場合は、閉所後は学校図書館等への移管をお願いします。

2 寄贈先予定数

200カ所(予定)

3 図書の内容・送付時期

施設の年齢対象、人数等に合わせ本を購入し保護力パーをつけて送付します。

・1カ所あたり平均50冊程度
・送付時期については、ご希望をお伺いします。
期間中、数回に分けて発送する予定です。

4 受付期間

平成23年6月～11月末日

主催：財団法人大阪国際児童文学館／大阪府書店商業組合／毎日新聞社／毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

お問い合わせ：当財団「東日本大震災「いっしょだよ」キャンペーン」事務局

TEL 06・6744・0581

*詳細はHPをご覧ください。

中国語圏の子どもの本がいま、注目を浴びている

**アジアの絵本シンポジウム
「絵本は国境を越える
中国語圏の絵本の現在」**

台湾と中国で絵本編集者として活躍されている高明美さんをお招きして、中国語圏の絵本の最新の情報をご紹介いただきました。

日時：平成23年3月13日（日）
場所：大阪市西区民センター
講師：高明美（台湾・児童文学翻訳者、編集者）
聞き手：成實朋子（児童文学研究者）
三宅興子（当財団理事長）

参加者：40人



○報告集を販売しています。500円

*本事業は、左記の各社からご支援をいただきました。

- 関西電力株式会社
- 近畿日本鉄道株式会社
- サントリーホールディングス株式会社
- 武田薬品工業株式会社
- パナソニック株式会社
- 阪急電鉄株式会社
- 株式会社富士通東北システムズ
- 株式会社富士通マーケティング
- ムサシ・アイ・テクノ株式会社

**のりものだいすき
おはなしだいすき**

貸切モノレールの中でおはなしを楽しみ、彩都西の会場で人形劇を観る「おはなしモノレール」を実施しました。平成22年度で4回目となります。

日時：11月21日（日）
定員：240人
協賛：大阪高速鉄道株式会社、独立行政法人日本万国博覧会記念機構、阪急電鉄株式会社

**ニッサン童話と
絵本のグランプリ**

アマチュア作家を対象にした創作童話と絵本のコンクール「第27回ニッサン童話と絵本のグランプリ」

表彰式 平成23年3月6日（日）
大阪府立中央図書館ライティホール
協賛：日産自動車株式会社
※絵本審査員の杉浦範茂先生は今回で退任されました。長い間ありがとうございました。

絵本の部 大賞
『つみのその てんし』
松宮敬治さん

絵本の部 優秀賞一席
『あやとユキ』
いながきふさこさん

リ」を実施しました。前回を上回る応募作品から審査の結果、入賞作品35編を決定しました。また、本事業は、公募ガイド社主催2010公募アワード大賞を受賞しました。

○応募数 童話の部2408点、絵本の部533点 計2941点
○童話の部 優秀賞一席
『あやとユキ』

童話の部
『トンノのひみつのプレゼント』
田中きんぎょ／作
みやざきひろかず／絵



北村武子記念事業

児童文学を愛された北村武子さんのご遺志により、当財団にいただいた多大な寄付金を「北村武子記念児童文学振興基金」として運営管理しています。

その記念事業として、大人対象の読書会の開催と研究論文集「国際児童文学館紀要」を発行しました。

●読書会の開催

「若おかみシリーズ人気の秘密をさぐるー著者合文ヒロ子さんをお迎えしてー」

子どもに大人気の児童文学作家合文ヒロ子さんをお迎えして、その作品の魅力、子ども読者の状況等について参加者で交流しました。

日時：平成23年2月5日（土）
場所：大阪府立中央図書館会議室
参加者：21人

●「国際児童文学館紀要」24号の発行
本号から国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しまし

た。2名の応募があり、論文1本、研究ノート1本を採用しました。

【目次】
戦後日本の「少女の友」『女学生の友』における異性愛文化の導入とその論理 今田絵里香
『少年世界』における小波作品 藤本芳則

『少年世界』に掲載された女性の伝記研究 小松聡子
『少年世界』における「少年小説」の同時代的意味 目黒 強
読者投稿欄から見る明治後期の『少年世界』 土居安子

中国の少女小説における「恋」のテーマの扱い方について 韓 韓

**『ほんナビきつず』
子どもの本を
キーワードから探す**

「ほんナビきつず」はインターネットで楽しく遊びながら、ことばや絵・読後感からお気に入りの本に出会うシステムです。



長新太さんの人気キャラクター、キャベツくんやブタヤマさんが登場するゲームで遊べるだけでなく、キーワードを選んだり、入力したりして本を探すことができます。

キーワード、あらすじは当財団で独自に入力。22年度は954冊の本を追加しました。財団HPからアクセスできます。

共同開発・株式会社富士通東北システムズ

**財団とともに活動している
ボランティアグループを紹介します**



人形劇サークル「ぱれっと」
2005年に財団主催で行った人形劇講座の修了生の有志でできたサークルです。
メンバーは5名で、人形劇団クラルテの松本則子さんの指導を受け、しっかりとした基礎のうえに練習を重ねています。
演目は、「舌長ばあさん」や「とらとふえき」などで、迫力のある舞台で、子どもも大人も楽しんでます。



「おはなしポツポ」
財団のボランティア講座の修了生が中心になって2002年から活動を行っています。
現在メンバーは22名、北摂地域の在住者が多いですが、大阪市や南河内の方もおり、それぞれ地元地域でも読書活動をしています。
毎年、財団職員とともに研修を重ね、味のあるおはなしを子どもたちに届けています。

子どもに本を 手渡す人のために

●講座への講師派遣

子どもの読書活動にかかわるボランティア、司書、学校司書、教員、保護者や子どもの本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のあり方に関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、主任専門員、特別専門員を派遣しました。

●実施回数：52回
(子どもの読書推進活動支援員派遣24回を含む)

●大学生とともに
大学生等を対象に、子どもと絵本を読むための講座と、絵本や紙芝居を作成して子どもたちに届ける講座を行いました。

●大学コンソーシアム大阪
平成22年度地域連携モデル事業講座(4回)
●吹田の昔話の紙芝居・絵本作りワークショップ(4回)(吹田市施行70周年記念事業「チーム・マナー」)



●審査員・委員など
左記の事業に、審査員や委員として参加しました。

●第20回賞面手づくり紙芝居コンクール審査員(箕面市教育委員会・人と本を紡ぐ会)

●人権教材絵本ガイドブック検討委員会(ちやいるどネット大阪)

●第13回はーと&はーと絵本原作コンクール選考委員会(大阪市教育委員会)

●第29回人権啓発詩・読書感想文審査委員会(大阪府・大阪府教育委員会・人権啓発推進大阪協議会)

●メディア芸術デジタルアーカイブ事業検討委員会(文化庁)

●第6回大阪子ども本の帯創作コンクール(大阪読書推進会・朝日新聞)

子どもたちに

おはなしの楽しさを

●大阪府立中央図書館との連携

大阪府立中央図書館(子ども資料室)でおはなし会5回、人形劇1回、物語体験ワークショップ1回を開催しました。

出演：職員、おはなしポップ、人形劇サークルぱれっと

●児童養護施設でのおはなし会

大阪府域の児童養護施設9カ所でおはなし会と人形劇を開催し、関連した絵本を配布しました。

おはなし会6回、人形劇3回
出演：おはなしポップ、人形劇サークルぱれっと、人形劇団クララテ

人形劇団クララテ

*本事業は財団法人高津成和会から助成金をいただきました。
●住宅展示場での街頭紙芝居
住宅展示場にきた家族に街頭紙芝居の楽しさを伝えました。

日時：平成22年5月8日(土) 2回

場所：花博住宅展示場広場(大阪市鶴見区)

出演：三邑会
主催：財団法人大阪住宅センター

●小学校やイベントでのワークショップ

豊中市立東丘小学校等で、小学生を対象とした、物語体験ワークショップを行いました。(5回)

●日中韓子ども童話交流2010に参加し、日本、中国、韓国の子どもたちと一緒に絵本作りを行いました。

日時：平成22年8月17日～23日
場所：東京都・奈良県
参加者：230名
主催：日中韓子ども童話交流事業実行委員会



●第1回出雲子ども探検隊に参加し、神話を元にしたお話をを行いました。
日時：平成23年3月28日～31日

参加者：18名
主催：毎日新聞社



子ども読書活動の 推進のために

●大阪府子ども読書活動推進連絡協議会への参画

大阪府が推進する「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子ども読書活動推進のための協議会に参画し、「第2次大阪府子ども読書活動推進計画」策定のための会議に出席しました。(2回)

●子どもの読書推進活動支援員派遣事業への協力

大阪府立中央図書館主催の支援員派遣事業に協力し、要請のあった機関・組織に対し、講師を派遣し講座を行いました。

実施回数：24回(全体71回)
講座内容：本を選ぶ・本を読む・新しい本の紹介・

読書活動について等
対象：保育士(4回)、教員(6回)、学校司書(4回)、ボランティアグループ(7回)

ボランティアグループ(7回)

内容 もりだくさん!

メルマガ発行、
ぜひ会員登録を

平成22年9月からメルマガジンを発行しています。

発行は、月1回、毎月20日頃に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

平成23年6月末現在、登録数は549人です。内容例は左記のとおり。

1 お知らせ
財団からのお知らせコーナー

2 コラム
1) YOO-INGの本読んだ?
Yasuko's & Okiko's Talk
理事長と専門職員が毎月新刊書を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。

2) 読書活動ボランティアのためのワンポイント
読書活動を行っているボランティアさんたちのための連続講座。絵本の選び方、読み方など、基本的なポイントを説明しています。

3) サイト紹介
子どもの本をリサーチする
知らなげや損をする子どもの本の調査のためのさまざまなおはなしサイト

4) 行って来ました!
展覧会や映画、講演会など、子どもの文化に関わる催しのレポート

3 全国のイベント紹介
他団体等が実施するイベントを紹介

4 プレゼント
今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

共同研究を行いました

●明治期児童雑誌研究プロジェクト

『少年世界』など明治時代に出版された児童向け雑誌について、平成20年度文部科学省科学研究費助成事業で作成した、明治時代の雑誌の内容細目データを活用しながら外部研究者とともに研究を行いました。

- 研究会の開催（3回）
- 日本児童文学学会第49回研究大会ラウンドテーブルの実施
- 『少年世界』の総合的研究―『少女世界』創刊の影響―（平成22年11月14日 梅花女子大学）
- 『国際児童文学館紀要24号』（論文4本）
- 研究メンバー：酒井晶代（愛知淑徳大学教授）、畠山兆子（梅花女子大学教授）、藤本芳則（大

谷大学短期大学部教授）、向川幹雄（当財団特別顧問・兵庫教育大学名誉教授）、目黒強（神戸大学准教授）、遠藤純（当財団特別専門員）、小松聡子（当財団特別専門員）、土居安子（当財団主任専門員）

●明治・大正・昭和前期における児童出版文化史の研究

故・南部新一氏（元博文館編集者）旧蔵資料にある書簡について、外部研究者とともに調査研究を行いました。平成23年度科学研究費補助金を申請し交付内定されました。

- 研究会の開催（4回）
- 研究課題：明治・大正・昭和前期における児童出版文化史の研究
- 博文館編集者の書簡調査から
- 研究メンバー：浅岡靖史（日本児童教育専門学校専任講師）、伊藤元雄（ブックグループ社代表）、酒井晶代（愛知淑徳大学教授）、遠藤純、小松聡子、土居安子

出版や展示の企画を行いました

●『コドモノクニ名作選』（ハースト婦人画報社）の企画協力

*詳細はコラムをご覧ください。

●進研ゼミおすすめ本1000冊

ベネッセコーポレーションから受託し、小学1年生〜中学3年生を対象に、推奨本600冊の選定と1000冊分の子ども向き紹介文を作成しました。

当財団では貴重な資料の複製や作家選集、論文集など児童文学・児童文化に関わる各種出版事業の相談に応じています。

資料を販売しています

●財団発行資料

- 国際児童文学館紀要 1号〜24号 1000円〜2000円
 - 論文集・シンポジウム報告集
 - 『中国の絵本』 2000円
 - 『インドの絵本』 1500円
 - 『台湾の絵本』 2000円
 - 世界の絵本の現在・報告集
 - 『タイの絵本』 2000円
- など多数あります。ご希望の方はお問い合わせください。

資料の寄贈を

ありがとうございました

今年度も出版社、作家、研究者、同人誌サークルなどから、児童書

や児童書に関する資料など、多くの寄贈をいただきました。いただいた資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。

（ご寄贈いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください）

図書	2569冊
雑誌	3275冊
その他資料	732点
計	6576点

ホームページをリニューアル

ホームページをリニューアルしました。トップ画面では、「お知らせ」や財団の「活動報告」をタイムリーに紹介しています。その他、ホームページからは左記の内容にアクセスできます。



- 「ほんナビさつず」
- 『日本の子どもの本100選』
- 主催イベントの参加申し込み
- 国内の児童文学・児童文化関連事業情報 など

財団パンフレットを作成

財団のパンフレットを作成しました。



寄付金募集のお願い!

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからの寄付を募っています。ご協力を願います。

- ◆うちよ銀行振替口座に払い込みください。
- 口座番号 00910・8・282098
- 加入者名 財団法人大阪国際児童文学館
- ※他の金融機関からの振込の場合 店名：〇九九店（ゼロキョウキョウ） 店番：099 / 預金種目：当座 / 口座番号：0282098

◆平成22年度は、142件 1,610,984円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。ご寄付いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください。

編集後記

新生・財団として初めての事業報告「財団法人大阪国際児童文学館レポート」第1号をお届けいたします。あわせて、図書資料等の寄贈をいただいた方、寄付金をいただいた方のお名前を掲載させていただきます。皆さまのご支援・ご協力を深く感謝いたします。

理事会で承認された平成22年度事業報告および決算報告はホームページで公開しています。引き続き、皆さま方のご支援をお願い申し上げますとともに、当財団の運営について、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

『コドモノクニ名作選』（ハースト婦人画報社）



当財団の企画協力により、ハースト婦人画報社（旧アセット婦人画報社）より『コドモノクニ名作選』が刊行されました。『コドモノクニ』は、大正11年に創刊された我が国初の本格的な月刊絵雑誌で、昭和19年に廃刊されるまで、287冊を世に送りだしました。

武井武雄や初山滋、岡本帰一ら日本の童画を切り開いた巨匠たちが健筆を奮い、童謡では北原白秋や野口雨情・西條八十、童話では巖谷小波ら、当時の代表的な書き手が作品を寄せています。東山魁夷の絵が掲載されていることでも有名です。

『コドモノクニ』を所蔵している施設は大変少なく、作品を目にすることは容易ではありませんでしたが、本誌の刊行によって、多くの方に楽しんでいただけるようになりました。日本の絵本史に輝く芸術的な絵雑誌・童画の世界をぜひご覧ください。

◆『コドモノクニ名作選』

- 上下巻（2010年8月）代表的な作品や作家解説、関連年表など
- VOL.2「春号」（2011年3月）各巻の3〜5月の作品（付録：王様クレヨン他）
- VOL.3「夏号」（2011年7月）各巻の6〜8月の作品（付録：童謡CD他）